

令和元年度 伊勢原市清掃美化審議会 会議録

〔事務局〕 経済環境部環境美化センター

〔開催日時〕 令和2年1月30日（木）午後3時10分～午後3時45分
※審議会前にはだのクリーンセンターの施設見学を実施

〔開催場所〕 はだのクリーンセンター 会議室

〔出席した委員〕 10名

勝 田 悟
清 水 孝 一
武 蔵 郁 夫
稲 次 正 知
宮 崎 清
笠 原 浩
安 藤 十 藏
杉 本 隆
北 村 義 昭
福 田 まさみ

〔事務局〕

石 田 康 弘（環境美化センター所長）
曲 本 浩 一（環境美化センター資源循環係長）
秋 山 裕 亮（環境美化センター資源循環係主査）

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 なし

〔経過〕 次のとおり

1 開会

○事務局より、過半数の出席により、審議会が成立する旨を報告。また、本審議会が公開審議であること、会議録を作成し審議会出席者の氏名が公表される旨、個人情報取り扱いを説明した後、審議会配付資料の確認をする。

2 あいさつ

3 議事

【会長】 議題（1）令和元年度燃やすごみ排出量について事務局に説明を求める。

【事務局】 資料に沿って、令和元年度燃やすごみ排出量について説明した。

【会長】 議題(1)令和元年度燃やすごみ排出量について、委員の皆様から意見を求める。

【委員】 草葉類はたい肥にしているのか。また、市が売却しているのか。

【事務局】たい肥として資源化される。草木類は市内の2事業者に受入れていただいているが、資源化施設は圏外のため運搬費などがかかるため、お金を支払い廃棄物として処理しているが、燃やすごみより安く処理できている。

【会長】燃やすごみ排出量について実績が秦野市と開きがあるが、何か要因が考えられるか。

【事務局】草木類の資源化について、伊勢原市では戸別回収もしくは、持ち込みでの回収としているが、秦野市は可燃ごみなどと同様、集積所へ排出し回収している手軽さが実績につながっていると考えられる。収集体制の変更については、多額のコストがかかるため費用対効果を鑑み資源化促進のため検討していきたい。

【会長】今後、燃やすごみの減量に対する何らかの施策を考えているか。

【事務局】来年度の途中からになるが、木質系粗大ごみの燃料チップなどへの資源化を実施する予定である。

【会長】伊勢原市・秦野市ともに近くに山があり、里山の管理などから間伐材などが出ると思うが、何か活用方法がないか？

【事務局】担当は違うが、現在広告を入れたベンチを作成し公園や公共施設に整備する事業を行っている。環境美化センターとしては、木製の箱に黒土を入れて生ごみを分解する生ごみ処理器「キューロ」を地元の間伐材を使って製作し、広めていけないか模索中である。

【委員】お菓子の箱などリサイクルマークがついている紙は資源として出せるが、その他の紙は資源化できるのか。

【事務局】商品にはリサイクルマークがついているので分かりやすいが、マークがついている紙以外でも、広告やメモ用紙など一般的な紙は全て雑紙として出していただけ。最近紙袋がなかなか手に入らないので、お菓子の箱や小さな段ボールなどにつめ込んで出していれば構わない。

【会長】議題（2）伊勢原市災害廃棄物等処理計画について事務局に説明を求める。

【事務局】資料に沿って、伊勢原市災害廃棄物等処理計画について説明した。

【会長】議題(2)伊勢原市災害廃棄物等処理計画については、進捗状況の報告ということなので質疑を行わず、案がまとまった段階で意見を伺うこととし議事を次に進める。

【会長】議題（3）その他報告事項について発言を求める。

【事務局】次回の審議会について、7月を予定していることを連絡する。

【会長】これにて議事終了とさせていただきます。